

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5312385号
(P5312385)

(45) 発行日 平成25年10月9日(2013.10.9)

(24) 登録日 平成25年7月12日(2013.7.12)

(51) Int.Cl.

A 4 1 B 9/06 (2006.01)

F 1

A 4 1 B 9/06

D

請求項の数 8 (全 18 頁)

(21) 出願番号	特願2010-65106 (P2010-65106)	(73) 特許権者	000131555
(22) 出願日	平成22年3月19日 (2010.3.19)		株式会社シャルレ
(65) 公開番号	特開2011-195994 (P2011-195994A)		兵庫県神戸市中央区港島中町7丁目7番1号
(43) 公開日	平成23年10月6日 (2011.10.6)	(74) 代理人	100068755
審査請求日	平成22年3月31日 (2010.3.31)		弁理士 恩田 博宣
		(74) 代理人	100105957
			弁理士 恩田 誠
		(72) 発明者	石田 信男
			兵庫県神戸市須磨区弥栄台3丁目1番2号
			株式会社 シャルレ 内
		(72) 発明者	亀田 尚久
			兵庫県神戸市須磨区弥栄台3丁目1番2号
			株式会社 シャルレ 内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 インナーウェア

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

インナーウェアであって、
 ブラジャーの下に着用され、
 生地同士を接続および離間するための係止部材を含むことなく形成され、
 バストに対応する部分に形成される開口部と、
 ブラジャーのストラップに対応する部分に形成される上部保護部と、
 ブラジャーのパネルに対応する部分に形成される下部保護部と、
 前記上部保護部の一部および前記下部保護部の一部を構成し、弱伸縮性生地よりも伸縮性の強い強伸縮性生地を含み、バストを下方外側から持ち上げて内側に寄せるバスト矯正部と、

10

前記下部保護部の一部を構成し、弱伸縮性生地よりも伸縮性の強い強伸縮性生地を含み、胸部側面を外側から内側に向けて押す側部矯正部と、

前記上部保護部の一部および前記下部保護部の一部を構成し、前記バスト矯正部と前記側部矯正部との間に形成され、前記バスト矯正部の強伸縮性生地および前記側部矯正部の強伸縮性生地よりも伸縮性が弱い弱伸縮性生地により形成される前面中間部と

を有し、

前記前面中間部は、

右側の前記バスト矯正部の外側周囲を取り囲む右側前面中間部、左側の前記バスト矯正部の外側周囲を取り囲む左側前面中間部、および前記右側前面中間部と前記左側前面中間

20

部とを互いに接続する中央前面中間部を有し、

前記下部保護部の一部を構成する部分としての前記右側前面中間部、前記左側前面中間部、および前記中央前面中間部のうちの上方部分において、複数枚の弱伸縮性生地が重ね合わせられ、

前記下部保護部の一部を構成する部分としての前記中央前面中間部のうちの下方部分が、前記右側前面中間部、前記左側前面中間部、および前記中央前面中間部のうちの上方部分よりも少ない枚数の弱伸縮性生地により形成される

インナーウェア。

【請求項 2】

前記前面中間部は、

胸部の下部中央に対応する部分に前記中央前面中間部のうちの下方部分を有する

請求項 1 に記載のインナーウェア。

【請求項 3】

インナーウェアであって、

ブラジャーの下に着用され、

生地同士を接続および離間するための係止部材を含むことなく形成され、

バストに対応する部分に形成される開口部と、

ブラジャーのストラップに対応する部分に形成される上部保護部と、

ブラジャーのパネルに対応する部分に形成される下部保護部と、

前記上部保護部の一部および前記下部保護部の一部を構成し、弱伸縮性生地よりも伸縮性の強い強伸縮性生地を含み、バストを下方外側から持ち上げて内側に寄せるバスト矯正部と、

前記下部保護部の一部を構成し、弱伸縮性生地よりも伸縮性の強い強伸縮性生地を含み、胸部側面を外側から内側に向けて押す側部矯正部と、

前記上部保護部の一部および前記下部保護部の一部を構成し、前記バスト矯正部と前記側部矯正部との間に形成され、前記バスト矯正部の強伸縮性生地および前記側部矯正部の強伸縮性生地よりも伸縮性が弱い弱伸縮性生地により形成される前面中間部と

を有し、

前記前面中間部は、

右側の前記バスト矯正部の外側周囲を取り囲む右側前面中間部、左側の前記バスト矯正部の外側周囲を取り囲む左側前面中間部、および前記右側前面中間部と前記左側前面中間部とを互いに接続する中央前面中間部を有し、

前記上部保護部の一部を構成する部分としての前記右側前面中間部および前記左側前面中間部において、複数枚の弱伸縮性生地が重ね合わせられる

インナーウェア。

【請求項 4】

前記インナーウェアは、

互いに縫い合わせられた生地の端が人体の表面とは反対側に向けて倒された構成を有する

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のインナーウェア。

【請求項 5】

前記上部保護部は、

肩よりも下方に対応する部分に形成される肩下部、および肩の上部に対応する部分に形成される肩上部を有し、前記肩下部において複数枚の生地が重ね合わせられ、前記肩上部において複数枚の生地が重ね合わせられ、前記肩上部を構成する複数枚の生地の少なくとも 1 枚の生地として前記肩下部を構成する複数枚の生地よりも厚手の生地を有する

請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のインナーウェア。

【請求項 6】

前記バスト矯正部は、

前記強伸縮性生地により形成されるバスト矯正表生地、および前記強伸縮性生地よりも

10

20

30

40

50

伸縮性が弱い弱伸縮性生地により形成されるバスト矯正裏生地を有し、前記バスト矯正裏生地の表側に前記バスト矯正表生地が重ね合わせられた二重構造を有する

請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載のインナーウェア。

【請求項 7】

前記側部矯正部は、

前記強伸縮性生地により形成される側部矯正表生地、および前記強伸縮性生地よりも伸縮性が弱い弱伸縮性生地により形成される側部矯正裏生地を有し、前記側部矯正裏生地の表側に前記側部矯正表生地が重ね合わせられた二重構造を有する

請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載のインナーウェア。

【請求項 8】

前記インナーウェアは、

上肢を露出する形状を有し、肩から胸部の下部までを覆う上衣としての構成を有する

請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載のインナーウェア。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ブラジャーの下に着用されるインナーウェアに関する。

【背景技術】

【0002】

一般的なブラジャーには、バストを支えるためのストラップが設けられている。また矯正用のブラジャーには、バストを寄せて持ち上げるためのワイヤーがカップ下部のパネル内に挿入されている。このようなストラップやワイヤーは、ブラジャーの主要な部分を形成する生地比べて硬いため、ブラジャーを着用したユーザに対して不快感を与えるものとなる。

【0003】

特許文献 1 には、ブラジャーを着用したときのユーザの不快感を軽減するためのインナーウェアとして、ブラジャーの下に着用するボディーサポータが提案されている。このボディーサポータの上に矯正用ブラジャーを着用した場合には、ブラジャーのワイヤーやストラップがボディーサポータの上に位置するため、ユーザがブラジャーから受ける不快感が軽減される。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献 1】特開 2006 - 193833 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

ところで、上記ボディーサポータの前面には同サポータの生地同士を互いに接続および離間するためのフックアイが設けられている。フックアイが設けられている箇所は、ボディーサポータを構成する他の部位の生地よりも硬いため、ユーザがフックアイと肌との接触により不快感を覚えることが考えられる。

【0006】

本発明はこのような実情に鑑みてなされたものであり、その目的は、ブラジャー着用時の不快感を軽減することのできるインナーウェアを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0007】

(1) 本手段の一形態は、「インナーウェアであって、ブラジャーの下に着用され、生地同士を接続および離間するための係止部材を含むことなく形成され、バストに対応する部分に形成される開口部と、ブラジャーのストラップに対応する部分に形成される上部保護部と、ブラジャーのパネルに対応する部分に形成される下部保護部と、前記上部保護部

10

20

30

40

50

の一部および前記下部保護部の一部を構成し、弱伸縮性生地よりも伸縮性の強い強伸縮性生地を含み、バストを下方外側から持ち上げて内側に寄せるバスト矯正部と、前記下部保護部の一部を構成し、弱伸縮性生地よりも伸縮性の強い強伸縮性生地を含み、胸部側面を外側から内側に向けて押す側部矯正部と、前記上部保護部の一部および前記下部保護部の一部を構成し、前記バスト矯正部と前記側部矯正部との間に形成され、前記バスト矯正部の強伸縮性生地および前記側部矯正部の強伸縮性生地よりも伸縮性が弱い弱伸縮性生地により形成される前面中間部とを有し、前記前面中間部は、右側の前記バスト矯正部の外側周囲を取り囲む右側前面中間部、左側の前記バスト矯正部の外側周囲を取り囲む左側前面中間部、および前記右側前面中間部と前記左側前面中間部とを互いに接続する中央前面中間部を有し、前記下部保護部の一部を構成する部分としての前記右側前面中間部、前記左側前面中間部、および前記中央前面中間部のうちの上方部分において、複数枚の弱伸縮性生地が重ね合わせられ、前記下部保護部の一部を構成する部分としての前記中央前面中間部のうちの下方部分が、前記右側前面中間部、前記左側前面中間部、および前記中央前面中間部のうちの上方部分よりも少ない枚数の弱伸縮性生地により形成されるインナーウェア」を含む。

10

【0008】

本インナーウェアによれば、上部保護部が設けられているため、ユーザが本インナーウェアおよびブラジャーを着用したとき、ブラジャーのストラップは上部保護部の上に位置する。また、下部保護部が設けられているため、ユーザが本インナーウェアおよびブラジャーを着用したとき、ブラジャーのパネルは下部保護部の上に位置する。また、開口部が設けられているため、ユーザが本インナーウェアを着用したとき、バストがブラジャーのカップにより直接的に保持される。また、係止部材を含むことなく構成されているため、ユーザが本インナーウェアを着用したときに係止部材と肌との接触により不快感を覚えることはない。すなわち、本インナーウェアによれば、ブラジャー着用時の不快感を軽減することができる。

20

また、本インナーウェアによれば、バストを下方外側から持ち上げて内側に寄せるためのバスト矯正部が設けられているため、ブラジャー着用時の不快感を軽減することに加えてバストの形を整えることもできる。

一般に、ブラジャーを着用したときには、胸部側面の脂肪がパネルの外側にはみ出すこととともない脂肪の段が形成されやすい。本インナーウェアによれば、胸部側面を外側から内側に向けて押すための側部矯正部が設けられているため、胸部側面の脂肪が内側に押さえ込まれる。従って、ブラジャーを着用したときに胸部側面に脂肪の段が形成されることを抑制することができる。

30

また、本インナーウェアによれば、下部保護部には複数枚の生地が重ね合わせられた構造が採用されているため、ユーザが本インナーウェアおよびブラジャーを着用したとき、ブラジャーのパネルに対応する部分の肌は複数枚の生地により覆われる。従って、パネル内のワイヤーがユーザに与える不快感をより軽減することができる。

【0009】

(2) 上記手段の一形態は、「前記前面中間部は、胸部の下部中央に対応する部分に前記中央前面中間部のうちの下方部分を有する」を含む。

40

【0010】

(3) 本手段の一形態は、「インナーウェアであって、ブラジャーの下に着用され、生地同士を接続および離間するための係止部材を含むことなく形成され、バストに対応する部分に形成される開口部と、ブラジャーのストラップに対応する部分に形成される上部保護部と、ブラジャーのパネルに対応する部分に形成される下部保護部と、前記上部保護部の一部および前記下部保護部の一部を構成し、弱伸縮性生地よりも伸縮性の強い強伸縮性生地を含み、バストを下方外側から持ち上げて内側に寄せるバスト矯正部と、前記下部保護部の一部を構成し、弱伸縮性生地よりも伸縮性の強い強伸縮性生地を含み、胸部側面を外側から内側に向けて押す側部矯正部と、前記上部保護部の一部および前記下部保護部の一部を構成し、前記バスト矯正部と前記側部矯正部との間に形成され、前記バスト矯正部

50

の強伸縮性生地および前記側部矯正部の強伸縮性生地よりも伸縮性が弱い弱伸縮性生地により形成される前面中間部とを有し、前記前面中間部は、右側の前記バスト矯正部の外側周囲を取り囲む右側前面中間部、左側の前記バスト矯正部の外側周囲を取り囲む左側前面中間部、および前記右側前面中間部と前記左側前面中間部とを互いに接続する中央前面中間部を有し、前記上部保護部の一部を構成する部分としての前記右側前面中間部および前記左側前面中間部において、複数枚の弱伸縮性生地が重ね合わせられるインナーウェアを含む。

【0011】

本インナーウェアによれば、上部保護部には複数枚の生地が重ね合わせられた構造が採用されているため、ユーザが本インナーウェアおよびブラジャーを着用したとき、ブラジャーのストラップに対応する部分の肌は複数枚の生地により覆われる。従って、ストラップがユーザに与える不快感をより軽減することができる。

10

【0012】

(4) 上記手段の一形態は、「前記インナーウェアは、互いに縫い合わせられた生地の端が人体の表面とは反対側に向けて倒された構成を有する」を含む。

【0013】

本インナーウェアによれば、生地の端が体表面とは反対側に向けて倒されているため、ユーザが同ウェアを着用したときに生地の端が肌に触れることが抑制される。従って、インナーウェアの着心地をより良いものにすることができる。

20

【0014】

(5) 上記手段の一形態は、「前記上部保護部は、肩よりも下方に対応する部分に形成される肩下部、および肩の上部に対応する部分に形成される肩上部を有し、前記肩下部において複数枚の生地が重ね合わせられ、前記肩上部において複数枚の生地が重ね合わせられ、前記肩上部を構成する複数枚の生地の少なくとも1枚の生地として前記肩下部を構成する複数枚の生地よりも厚手の生地を有する」を含む。

【0015】

本インナーウェアによれば、ブラジャーのストラップから肌に対してより大きな力が加えられる肩上部に厚手の生地が設けられているため、ストラップがユーザに与える不快感をより軽減することができる。

【0016】

30

(6) 上記手段の一形態は、「前記バスト矯正部は、前記強伸縮性生地により形成されるバスト矯正表生地、および前記強伸縮性生地よりも伸縮性が弱い弱伸縮性生地により形成されるバスト矯正裏生地を有し、前記バスト矯正裏生地の表側に前記バスト矯正表生地が重ね合わせられた二重構造を有する」を含む。

【0017】

本インナーウェアによれば、バスト矯正部には強伸縮性生地および弱伸縮性生地が重ね合わせられた二重構造が採用されているため、同矯正部が1枚の生地により構成される場合と比べて、バストの形を整える効果をより高めることができる。

【0018】

(7) 上記手段の一形態は、「前記側部矯正部は、前記強伸縮性生地により形成される側部矯正表生地、および前記強伸縮性生地よりも伸縮性が弱い弱伸縮性生地により形成される側部矯正裏生地を有し、前記側部矯正裏生地の表側に前記側部矯正表生地が重ね合わせられた二重構造を有する」を含む。

40

【0019】

本インナーウェアによれば、側部矯正部には強伸縮性生地および弱伸縮性生地が重ね合わせられた二重構造が採用されているため、同矯正部が1枚の生地により構成される場合と比べて、胸部側面に脂肪の段が形成されることを抑制する効果をより高めることができる。

【0020】

(8) 上記手段の一形態は、「前記インナーウェアは、上肢を露出する形状を有し、肩

50

から胸部の下部までを覆う上衣としての構成を有する」を含む。

【0021】

本インナーウェアは、上肢を露出する形状の上衣として構成されるため、半袖被服の下に着用することができる。

【図面の簡単な説明】

【0025】

【図1】本発明のインナーウェアの一実施形態について、同ウェアの正面構造を示す正面図。

【図2】同実施形態のインナーウェアについて、その背面構造を示す背面図。

【図3】同実施形態のインナーウェアについて、ユーザに着用された状態の正面構造を示す正面図。

10

【図4】同実施形態のインナーウェアについて、ユーザに着用された状態の背面構造を示す背面図。

【図5】同実施形態のインナーウェアについて、ユーザに着用された状態の側面構造を示す側面図。

【図6】同実施形態のインナーウェアについて、ユーザに着用された状態かつ同ウェアの上にブラジャーが着用された状態の正面構造を示す正面図。

【図7】同実施形態のインナーウェアについて、ユーザに着用された状態かつ同ウェアの上にブラジャーが着用された状態の背面構造を示す背面図。

【図8】同実施形態のインナーウェアについて、ユーザに着用された状態かつ同ウェアの上にブラジャーが着用された状態の側面構造を示す側面図。

20

【図9】本発明のインナーウェアのその他の実施形態について、ユーザに着用された状態の正面構造を示す正面図。

【図10】本発明のインナーウェアのその他の実施形態について、(a)はユーザに着用された状態の正面構造を示す正面図、(b)はユーザに着用された状態の背面構造を示す背面図。

【図11】本発明のインナーウェアのその他の実施形態について、ユーザに着用された状態の正面構造を示す正面図。

【発明を実施するための形態】

【0026】

30

図1～図8を参照して、本発明の一実施形態について説明する。

本実施形態では、上肢を覆う部分を含まないランニングタイプのインナーウェアとして本発明を具体化した一例を示している。なお、図1～図8では、インナーウェア1を構成する各生地同士の縫い目を実線で、また生地の裏側に縫い付けられた別の生地の縫い目を破線で示している。以降の説明において、「生地の裏側」は各生地において人体と向き合う側を、「生地の表側」は各生地において裏側とは反対側をそれぞれ示すものとする。また、「内側」は人体の左右方向において体軸側を、「外側」は人体の左右方向において体軸側とは反対側をそれぞれ示すものとする。

【0027】

図1および図2に示されるように、インナーウェア1は、主にブラジャーのストラップに対応する部分を覆う上部保護部10と、主にブラジャーのパネルに対応する部分を覆う下部保護部20とを含む。

40

【0028】

上部保護部10は、人体の前面においてブラジャーのストラップが人体に与える不快感を軽減するための前面上部保護部11と、人体の背面においてブラジャーのストラップが人体に与える不快感を軽減するための背面上部保護部12と、肩においてブラジャーのストラップが人体に与える不快感を軽減するための肩保護部13とを含む。また、上部保護部10および下部保護部20の前面においてこれら保護部10、20にまたがり設けられてバストの形を整えるためのバスト矯正部14の一部も含む。

【0029】

50

下部保護部 20 は、人体の前面においてブラジャーのパネルが人体に与える不快感を軽減するための前面下部保護部 21 と、人体の背面においてブラジャーのパネルが人体に与える不快感を軽減するための背面下部保護部 22 とを含む。また、前面下部保護部 21 および背面下部保護部 22 にまたがり設けられて腋下の脂肪を外側から内側に押し付けるための側部矯正部 23 も含む。

【0030】

インナーウェア 1 は以下の各生地により構成されている。

- ・人体の前面において肩下方およびバスト外側およびバスト下部を覆うように形成された前面 U 字表生地 31。
- ・前面 U 字表生地 31 と同じ形状に形成されて前面 U 字表生地 31 の裏側に重ね合わせられた状態で同生地 31 に縫い付けられる前面 U 字裏生地 32。
- ・バストの外側下方の部分の形状に対応して形成されたバスト矯正表生地 33。
- ・バスト矯正表生地 33 と同じ形状に形成されてバスト矯正表生地 33 の裏側に重ね合わせられた状態で同生地 33 に縫い付けられるバスト矯正裏生地 34。
- ・人体の肩を覆うように形成された肩表生地 35。
- ・肩表生地 35 と同じ形状に形成されて肩表生地 35 の裏側に重ね合わせられた状態で同生地 35 に縫い付けられる肩裏生地 36。
- ・人体の腋下の側面およびその周囲を覆うように形成された側部矯正表生地 37。
- ・側部矯正表生地 37 と同じ形状に形成されて側部矯正表生地 37 の裏側に重ね合わせられた状態で同生地 37 に縫い付けられる側部矯正裏生地 38。
- ・人体の前面において胸部の下部中央を覆うように形成された中下生地 39。
- ・人体の背面において背中の上部から下部までを覆うように形成された背面生地 41。

【0031】

バスト矯正裏生地 34 としては、人体の左側に設けられる左バスト矯正裏生地 34 L と、人体の右側に設けられる右バスト矯正裏生地 34 R とが各別に設けられている。

肩表生地 35 としては、人体の左側に設けられる左肩表生地 35 L と、人体の右側に設けられる右肩表生地 35 R とが各別に設けられている。

【0032】

肩裏生地 36 としては、人体の左側に設けられる左肩裏生地 36 L と、人体の右側に設けられる右肩裏生地 36 R とが各別に設けられている。

側部矯正裏生地 38 としては、人体の左側に設けられる左側部矯正裏生地 38 L と、人体の右側に設けられる右側部矯正裏生地 38 R とが各別に設けられている。

【0033】

バスト矯正表生地 33 としては、人体の左側に設けられる左バスト矯正表生地 33 L と、人体の右側に設けられる右バスト矯正表生地 33 R とが各別に設けられている。

側部矯正表生地 37 としては、人体の左側に設けられる左側部矯正表生地 37 L と、人体の右側に設けられる右側部矯正表生地 37 R とが設けられている。

【0034】

各生地の伸縮性の関係および厚みの関係を以下に示す。

- ・各生地 31 ～ 41 のうちバスト矯正表生地 33 および側部矯正表生地 37 を除いた残りの生地としては、一般のインナーウェアに用いられる生地と同程度の伸縮性を有する弱伸縮性生地が用いられている。
- ・バスト矯正表生地 33 および側部矯正表生地 37 としては、弱伸縮性生地よりも強い伸縮性を有する強伸縮性生地が用いられている。
- ・バスト矯正表生地 33 と側部矯正表生地 37 とは互いに同じ伸縮性を有する。
- ・肩表生地 35 の厚さは肩裏生地 36 および前面 U 字表生地 31 および前面 U 字裏生地 32 および背面生地 41 の厚さよりも厚い。

【0035】

インナーウェア 1 のより詳細な構造について説明する。

上部保護部 10 は、前面上部保護部 11 と背面上部保護部 12 と肩保護部 13 とバスト

矯正部 14 の一部とにより構成されている。下部保護部 20 は、前面下部保護部 21 と背面下部保護部 22 と側部矯正部 23 とバスト矯正部 14 の一部とにより構成されている。

【0036】

インナーウェア 1 の前面には、バストを露出させるための前面開口部 15 が形成されている。インナーウェア 1 の背面には、背中の上部を露出させるための背面開口部 16 が形成されている。

【0037】

インナーウェア 1 において、前面開口部 15 を形成する各生地 3 の縁、すなわち前面 U 字表生地 31 および前面 U 字裏生地 32 およびバスト矯正表生地 33 およびバスト矯正裏生地 34 および前面の肩表生地 35 および前面の肩裏生地 36 の縁と、背面開口部 16 を形成する各生地 4 の縁、すなわち背面の肩表生地 35 および背面の肩裏生地 36 および背面生地 41 の縁とには、これら生地と折り返して縫い合わせられた内側縫合部 51 が設けられている。また、肩まわりの開口部を形成する各生地 3 の縁、すなわち前面 U 字表生地 31 および前面 U 字裏生地 32 および肩表生地 35 および肩裏生地 36 および側部矯正表生地 37 および側部矯正裏生地 38 および背面生地 41 の縁には、これら生地と折り返して縫い合わせられた横側縫合部 52 が設けられている。また、胴回りの開口部を形成する各生地 3 の縁、すなわち前面 U 字表生地 31 および前面 U 字裏生地 32 および側部矯正表生地 37 および側部矯正裏生地 38 および中下生地 39 および背面生地 41 の縁には、これら生地と折り返して縫い合わせられた下側縫合部 53 が設けられている。

【0038】

図 1 に示されるように、前面上部保護部 11 は、前面 U 字表生地 31 および前面 U 字裏生地 32 のうちの肩周りの開口部の下端よりも上側の部分と、バスト矯正表生地 33 およびバスト矯正裏生地 34 のうちの肩周りの開口部の下端よりも上側の部分と、肩表生地 35 および肩裏生地 36 のうちの前面の部分とにより構成されている。すなわち前面上部保護部 11 は、前面 U 字表生地 31 および前面 U 字裏生地 32 が重ね合わせられた二重構造の部分を含む。前面上部保護部 11 の左右方向の幅は、一般のブラジャーに設けられているストラップの左右方向の幅よりも大きい。

【0039】

図 2 に示されるように、背面上部保護部 12 は、背面生地 41 のうちの肩周りの開口部の下端よりも上側の部分と、肩表生地 35 および肩裏生地 36 の背面側の部分とにより構成されている。

【0040】

図 1 および図 2 に示されるように、肩保護部 13 は、肩表生地 35 および肩裏生地 36 により構成されている。すなわち肩保護部 13 は、肩表生地 35 および肩裏生地 36 が重ね合わせられた二重構造を有する。

【0041】

図 1 に示されるように、バスト矯正部 14 は、バスト矯正表生地 33 およびバスト矯正裏生地 34 により構成されている。すなわちバスト矯正部 14 は、バスト矯正表生地 33 およびバスト矯正裏生地 34 が重ね合わせられた二重構造を有する。

【0042】

図 1 に示されるように、前面下部保護部 21 は、前面 U 字表生地 31 および前面 U 字裏生地 32 のうちの肩周りの開口部の下端よりも下側の部分と、バスト矯正表生地 33 およびバスト矯正裏生地 34 のうちの肩周りの開口部の下端よりも下側の部分と、側部矯正表生地 37 および側部矯正裏生地 38 の前面側の部分と、中下生地 39 とにより構成されている。

【0043】

図 2 に示されるように、背面下部保護部 22 は、背面生地 41 のうちの肩周りの開口部の下端よりも下側の部分と、側部矯正表生地 37 および側部矯正裏生地 38 の背面側の部分とにより構成されている。

【0044】

図1および図2に示されるように、側部矯正部23は、側部矯正表生地37および側部矯正裏生地38により構成されている。すなわち側部矯正部23は、側部矯正表生地37および側部矯正裏生地38が重ね合わせられた二重構造を有する。

【0045】

インナーウェア1の上記各生地の縫い合わせ部分においては、生地が折り返された状態、すなわち生地が外側に向けて倒された状態で生地同士が縫い合わせられている。言い換えると、生地の端が人体とは反対側を向くように生地同士が縫い合わせられている。

【0046】

図3～図5に、インナーウェア1を着用した人体の上半身の一部を示す。

前面上部保護部11は、人体の前面において、肩100下方からバスト210外側下方までを覆う。背面上部保護部12は、人体の背面において、肩100下方から背中上部401までを覆う。肩保護部13は、胸部上部201の上方から背中上部401の上方まで、すなわち肩100を覆う。バスト矯正部14は、バスト210の外側上部から下側の一部までを覆う。

【0047】

前面下部保護部21は、図中の一点鎖線のアンダーバストライン220から胸部200の下端までの部分を覆う。背面下部保護部22は、背中中部402から背中400の下端までの部分を覆う。側部矯正部23は、人体の前面のうち胸部中部202から胸部200の下端までの部分と、人体の背面のうち背中中部402から背中400の下端までの部分と、人体の側面の部分（腋下の部分）とを覆う。

【0048】

インナーウェア1を着用した人体に作用する力について説明する。

バスト210には、図3～図5において矢印ZAで示される力、すなわちバスト210の外側下部から内側上部に向かう力がバスト矯正部14により加えられる。このようにバスト210に加えられる力は、バスト210を外側から内側に寄せる力として、かつバスト210を下側から上側に持ち上げる力として作用する。

【0049】

胸部中部202および胸部下部203の側面（背中中部402および背中下部403の側面）には、図3～図5において矢印ZBで示される力、すなわち胸部中部202および胸部下部203の側面（背中中部402および背中下部403の側面）の外側から内側に向かう力が側部矯正部23により加えられる。このように胸部中部202および胸部下部203の側面（背中中部402および背中下部403の側面）に加えられる力は、胸部中部202および胸部下部203の側面（背中中部402および背中下部403の側面）を外側から内側に押すための力として作用する。

【0050】

図6～図8を参照して、インナーウェア1およびブラジャー600のそれぞれが人体に着用された状態においてのインナーウェア1とブラジャー600との関係について説明する。

【0051】

ブラジャー600は、ブラジャー600の位置を安定させるためのストラップ610と、バスト210を保持するためのカップ630と、人体の前面および背面にまたがり設けられてストラップ610およびカップ630を支持するパネル620とを含む。

【0052】

ストラップ610は、人体の前面において胸部上部201に対応するストラップ前部611と、人体の背面に対応するストラップ後部612と、人体の肩100に対応するストラップ肩部613とを含む。このブラジャー600では、ストラップ前部611がカップ630に縫い付けられている。この他に、ストラップ前部611がパネル前部621に縫い付けられるタイプのブラジャーもある。

【0053】

パネル620は、人体の前面の胸部中部202および胸部下部203に対応するパネル

10

20

30

40

50

前部 6 2 1 と、人体の背面において背中中部 4 0 2 および背中下部 4 0 3 に対応するパネル後部 6 2 2 と、人体の側部に対応するパネル横部 6 2 3 とを含む。

【0 0 5 4】

パネル前部 6 2 1 においてバスト 2 1 0 に対応する部位には、バスト 2 1 0 を外側下方から内側に寄せて持ち上げるためのワイヤー 6 4 0 が設けられている。

パネル後部 6 2 2 にはストラップ後部 6 1 2 が縫い付けられている。パネル後部 6 2 2 において背中中部 4 0 2 と対応する部位には、パネル後部 6 2 2 の左側の生地と右側の生地とを互いに接続および離間するためのフックアイ 6 5 0 が設けられている。

【0 0 5 5】

着用時のインナーウェア 1 およびブラジャー 6 0 0 の関係を以下に示す。

10

ストラップ前部 6 1 1 は、前面上部保護部 1 1 の上に位置する。ストラップ後部 6 1 2 は、背面上部保護部 1 2 の上に位置する。ストラップ肩部 6 1 3 は、肩保護部 1 3 の上に位置する。パネル前部 6 2 1 は、前面下部保護部 2 1 の上に位置する。パネル後部 6 2 2 は、背面下部保護部 2 2 の上に位置する。パネル横部 6 2 3 は、側部矯正部 2 3 の上に位置する。ワイヤー 6 4 0 は、前面下部保護部 2 1 の上に位置する。フックアイ 6 5 0 は、背面下部保護部 2 2 の上に位置する。なお、ストラップ前部 6 1 1 がパネル前部 6 2 1 に縫い付けられたブラジャーを着用した場合にも同様に、ストラップ前部 6 1 1 は前面上部保護部 1 1 の上に位置する。

【0 0 5 6】

本実施形態によれば以下の効果を奏することができる。

20

(1) インナーウェア 1 には上部保護部 1 0 が設けられているため、ユーザがインナーウェア 1 およびブラジャー 6 0 0 を着用したとき、ストラップ 6 1 0 が上部保護部 1 0 の上に位置する。また、インナーウェア 1 には下部保護部 2 0 が設けられているため、ユーザがインナーウェア 1 およびブラジャー 6 0 0 を着用したとき、パネル 6 2 0 が下部保護部 2 0 の上に位置する。また、インナーウェア 1 には前面開口部 1 5 が設けられているため、ユーザがインナーウェア 1 およびブラジャー 6 0 0 を着用したとき、バスト 2 1 0 がブラジャー 6 0 0 のカップ 6 3 0 により直接的に保持される。また、インナーウェア 1 には生地同士を接続および離間するための係止部材が含まれていないため、ユーザがインナーウェア 1 およびブラジャー 6 0 0 を着用したとき、係止部材と肌との接触によりユーザが不快感を覚えることはない。すなわち、インナーウェア 1 によればブラジャー 6 0 0 着用時の不快感を軽減することができる。

30

【0 0 5 7】

(2) インナーウェア 1 の各生地の縫い合わせ部分においては、生地が折り返された状態、すなわち生地が外側に向けて倒された状態で生地同士が縫い合わせられている。これにより、ユーザがインナーウェア 1 を着用したときの生地の端が肌に触れることが抑制されるため、同ウェア 1 の着心地をより良いものにすることができる。

【0 0 5 8】

(3) インナーウェア 1 の前面下部保護部 2 1 には、前面 U 字表生地 3 1 および前面 U 字裏生地 3 2 が重ね合わせられた二重構造が採用されている。これにより、ユーザがインナーウェア 1 およびブラジャー 6 0 0 を着用したとき、ブラジャー 6 0 0 のパネル前部 6 2 1 に対応する部分の肌が 2 枚の生地により覆われるため、パネル前部 6 2 1 内のワイヤー 6 4 0 がユーザに与える不快感をより軽減することができる。

40

【0 0 5 9】

(4) インナーウェア 1 の前面上部保護部 1 1 には、前面 U 字表生地 3 1 および前面 U 字裏生地 3 2 が重ね合わせられた二重構造が採用されている。これにより、ユーザがインナーウェア 1 およびブラジャー 6 0 0 を着用したとき、ブラジャー 6 0 0 のストラップ前部 6 1 1 に対応する部分の肌が 2 枚の生地により覆われるため、ストラップ前部 6 1 1 がユーザに与える不快感をより軽減することができる。

【0 0 6 0】

(5) インナーウェア 1 の肩保護部 1 3 には、前面上部保護部 1 1 を構成する前面 U 字

50

表生地 3 1 よりも厚手の生地が設けられている。これにより、ストラップ肩部 6 1 3 がユーザに与える不快感をより軽減することができる。

【0061】

(6) インナーウェア 1 には、バスト 2 1 0 を外側下方から持ち上げて内側に寄せるためのバスト矯正部 1 4 が設けられている。これにより、ブラジャー 6 0 0 着用時のユーザに与える不快感を軽減することに加えて、バスト 2 1 0 の形を整えることもできる。

【0062】

(7) インナーウェア 1 のバスト矯正部 1 4 には、バスト矯正表生地 3 3 およびバスト矯正裏生地 3 4 が重ね合わせられた二重構造が採用されている。これにより、同矯正部 1 4 が 1 枚の生地により構成される場合と比べて、バスト 2 1 0 の形を整える効果をより高めることができる。

10

【0063】

(8) インナーウェア 1 には、胸部 2 0 0 側面を外側から内側に向けて押すための側部矯正部 2 3 が設けられている。これにより、腋下 2 3 0 およびその付近の側面の脂肪が内側に押さえ込まれるため、ブラジャー 6 0 0 を着用したときに腋下 2 3 0 およびその付近の側面に脂肪の段が形成されることを抑制することができる。

【0064】

(9) インナーウェア 1 の側部矯正部 2 3 には、側部矯正表生地 3 7 および側部矯正裏生地 3 8 が重ね合わせられた二重構造が採用されている。これにより、同矯正部 2 3 が 1 枚の生地により構成される場合と比べて、腋下 2 3 0 およびその付近の側部に脂肪の段が形成されることを抑制する効果をより高めることができる。

20

【0065】

(10) インナーウェア 1 は、上肢を露出する形状の上衣として構成されている。これにより、半袖被覆の下に着用することができる。

(11) インナーウェア 1 の前面下部保護部 2 1 の左右方向の間には、弱伸縮性生地としての 1 枚の中下生地 3 9 が設けられている。これにより、中下生地 3 9 として強伸縮性生地が採用されている場合および弱伸縮性生地が 2 枚設けられている場合と比較して、ユーザがインナーウェア 1 を着用したときに同部分に加えられる圧迫感を小さくすることができる。

【0066】

30

(12) インナーウェア 1 の背面上部保護部 1 2 および背面下部保護部 2 2 は、弱伸縮性生地としての 1 枚の背面生地 4 1 により構成されている。これにより、背面生地 4 1 として強伸縮性生地が用いられている場合および弱伸縮性生地が 2 枚設けられている場合と比較して、ユーザがインナーウェア 1 を着用したときに背中 4 0 0 に加えられる圧迫感を小さくすることができる。

【0067】

(13) インナーウェア 1 のバスト矯正部 1 4 のバスト矯正裏生地 3 4 には、強伸縮性生地よりもやわらかい弱伸縮性生地が用いられている。これにより、バスト矯正裏生地 3 4 として強伸縮性生地が用いられている場合と比較して、ユーザがインナーウェア 1 を着用したときの着心地をより良いものにすることができる。

40

【0068】

(14) インナーウェア 1 の側部矯正部 2 3 の側部矯正裏生地 3 8 には、強伸縮性生地よりもやわらかい弱伸縮性生地が用いられている。これにより、側部矯正裏生地 3 8 として強伸縮性生地が用いられている場合と比較して、ユーザがインナーウェア 1 を着用したときの着心地をより良いものにすることができる。

【0069】

(15) インナーウェア 1 の肩保護部 1 3 の肩裏生地 3 6 には、強伸縮性生地よりもやわらかい弱伸縮性生地が用いられている。これにより、肩裏生地 3 6 として強伸縮性生地が用いられている場合と比較して、ユーザがインナーウェア 1 を着用したときの着心地をより良いものにすることができる。

50

【0070】

(その他の実施形態)

なお、本発明の実施態様は上記実施形態に限られるものではなく、例えば以下に示すように変更することもできる。また以下の各変形例は、上記実施形態についてのみ適用されるものではなく、異なる変形例同士を互いに組み合わせて実施することもできる。

【0071】

・上記実施形態では、図1および図3に示される形状の前面開口部15をインナーウェア1に形成したが、前面開口部15の形状を次のように変更することもできる。すなわち、図9(a)に示されるように、胸部上部201を覆うように形成された生地Xを前面開口部15の上部に設けることもできる。また図9(b)に示されるように、バスト210の間を含めた胸部200の前面を覆う生地X1、およびこの生地X1を前面上部保護部11に接続するための生地X2を前面開口部15に設けることもできる。この場合には、図6に示されるバスト210の内側下方に位置するワイヤー640と肌との間に生地X1が位置するため、ワイヤー640がユーザに与える不快感を軽減することができる。

10

【0072】

・上記実施形態では、図3～図5に示されるように、胸部200下端(背中400下端)と対応する部位に下部保護部20の下端を設けたが、下部保護部20の下端の位置を変更することもできる。例えば、図10(a)に示されるように、腹部300(人体の背面においては腰部500)の中間部に対応するところに下部保護部20の下端を設けることもできる。この場合には、側部矯正部23が腹部300の側面を覆うため、腹部300の側面に脂肪の段が形成さえること抑制することができる。

20

【0073】

・上記実施形態では、図4および図5に示されるように、背中上部401から背中中部402に向かうにつれて左右方向の幅が次第に小さくなる背面開口部16を背面上部保護部12に設けているが、次のように変更することもできる。すなわち、図10(b)に示されるように、背面開口部16を省略して背中400の全体を覆うように背面上部保護部12を形成することもできる。

【0074】

・上記実施形態のインナーウェア1に対して、図11(a)に示されるようにバスト210を保持するカップYを追加することもできる。この場合にもインナーウェア1の上にブラジャー600を着用することができる。

30

【0075】

・上記実施形態では、上肢を覆う部分を含まないランニングタイプの下着としてインナーウェア1を形成しているが、上肢を覆う部分を含むタイプの下着としてインナーウェア1を形成することもできる。例えば、図11(b)に示されるように、半袖を含むTシャツタイプの下着とすることもできる。また、肩100から手首までの部分を覆う袖を長袖タイプの下着とすることもできる。

【0076】

・上記実施形態では、図1および図3に示されるように中下生地39を含めて前面下部保護部21を形成しているが、図11(c)に示されるように中下生地39を省略して前面下部保護部21を形成することもできる。この場合には、前面U字表生地31として中下生地39に対応する部位を含めた形状のものが用いられる。

40

【0077】

・上記実施形態では、前面上部保護部11および前面下部保護部21の構造として、それぞれ前面U字表生地31および前面U字裏生地32が重ね合わせられた二重構造を採用したが、前面U字表生地31および前面U字裏生地32のいずれか一方を省略して前面上部保護部11を構成することもできる。また、前面U字表生地31および前面U字裏生地32にさらに別の生地を縫い合わせて三重以上の構造とすることもできる。

【0078】

・上記実施形態では、前面上部保護部11および前面下部保護部21の構造として、そ

50

れぞれ 2 枚の弱伸縮性生地が重ね合わせられた二重構造を採用したが、次のように変更することもできる。すなわち、少なくとも一方の弱伸縮性生地を薄手の強伸縮性生地または厚手の弱伸縮性生地または厚手の強伸縮性生地に変更することもできる。

【0079】

・上記実施形態では、肩保護部 13 の構造として、肩表生地 35 および肩裏生地 36 が重ね合わせられた二重構造を採用したが、肩表生地 35 および肩裏生地 36 のいずれか一方を省略して肩保護部 13 を構成することもできる。また、肩表生地 35 および肩裏生地 36 にさらに別の生地を縫い合わせて三重以上の構造とすることもできる。

【0080】

・上記実施形態では、肩保護部 13 の構造として、薄手の弱伸縮性生地と厚手の弱伸縮性生地とが重ね合わせられた二重構造を採用したが、次のように変更することもできる。すなわち、薄手の弱伸縮性生地を薄手の強伸縮性生地または厚手の弱伸縮性生地または厚手の強伸縮性生地に変更することもできる。また、厚手の弱伸縮性生地を薄手の強伸縮性生地または厚手の強伸縮性生地または薄手の弱伸縮性生地に変更することもできる。また、これら生地の変更を組み合わせて行うこともできる。

【0081】

・上記実施形態では、バスト矯正部 14 の構造として、バスト矯正表生地 33 およびバスト矯正裏生地 34 が重ね合わせられた二重構造を採用したが、バスト矯正裏生地 34 を省略してバスト矯正部 14 を構成することもできる。また、バスト矯正表生地 33 およびバスト矯正裏生地 34 にさらに別の生地を縫い合わせて三重以上の構造とすることもできる。

【0082】

・上記実施形態では、側部矯正部 23 の構造として、側部矯正表生地 37 および側部矯正裏生地 38 が重ね合わせられた二重構造を採用したが、側部矯正裏生地 38 を省略して側部矯正部 23 を構成することもできる。また、側部矯正表生地 37 および側部矯正裏生地 38 にさらに別の生地を縫い合わせて三重以上の構造とすることもできる。

【0083】

・上記実施形態では、バスト矯正部 14 および側部矯正部 23 を含めてインナーウェア 1 を構成したが、これら矯正部のうち少なくとも一方を省略してインナーウェア 1 を構成することもできる。

【0084】

・上記実施形態では、肩保護部 13 を含めて上部保護部 10 を構成しているが、肩保護部 13 を上部保護部 10 から省略することもできる。この場合には、前面 U 字表生地 31 および背面生地 41 の少なくとも一方を延長することにより肩 100 を覆う部分を形成することができる。

【0085】

・上記実施形態では、側部矯正部 23 を構成する生地（側部矯正表生地 37 および側部矯正裏生地 38）の左右方向の幅を胸部中部 202 から胸部下部 203 に向けて次第に大きくしているが、各生地の左右方向の幅はこれに限られるものではない。例えば、上下方向の全体にわたり一定の大きさとすることもできる。

【0086】

・上記実施形態では、前面 U 字表生地 31 および前面 U 字裏生地 32 およびバスト矯正裏生地 34 および肩表生地 35 および肩裏生地 36 および側部矯正裏生地 38 および中下生地 39 および背面生地 41 の伸縮性を互いに同じものとしたが、これら生地の中の少なくとも 2 つの間において伸縮性の強弱を互いに異なるものにすることもできる。

【0087】

・上記実施形態では、バスト矯正表生地 33 および側部矯正表生地 37 の伸縮性を互いに同じものとしたが、バスト矯正表生地 33 の伸縮性を側部矯正表生地 37 の伸縮性よりも大きくすることもできる。また反対に、側部矯正表生地 37 の伸縮性をバスト矯正表生地 33 の伸縮性よりも大きくすることもできる。

【0088】

・上記実施形態では、弱伸縮性生地として一般のインナーウェアに用いられる生地と同程度の伸縮性を有するものを採用したが、強伸縮性生地よりも小さい伸縮性を有するものであれば、一般のインナーウェアに用いられる生地よりも大きい伸縮性を有する生地を弱伸縮性生地として用いることもできる。

【0089】

・上記実施形態では、複数の生地を縫い合わせてインナーウェア1を編成したが、インナーウェア1の編成方法はこれに限られない。すなわち、インナーウェア1の全体を一体的に編成した一体編成品とすることもできる。この場合、複数段階の緊締力を有するパワーネット生地をインナーウェア1の生地の中に一体的に編成することもできる。

10

【0090】

・上記実施形態では、インナーウェア1を非立体成型品として編成したが、編成組織をなす一方の編地および他方の編地を弾性糸で連結して立体編成した立体成型品としてインナーウェア1を編成することもできる。

【0091】

・上記実施形態では、単一のインナーウェア1として本発明のインナーウェアを具体化した。複数の上半身用被服を組み合わせたものとして本発明のインナーウェアを具体化することもできる。すなわち、本発明のインナーウェア1を上衣の裏側に縫い付け、これを本発明のインナーウェアを具体化した一態様とすることもできる。なお、このような形態で本発明を実施することのできる上衣の一例としては、トレーニングウェア、ヨットパーカ、スモック、プルオーバー、Tシャツ及びトレーナが挙げられる。

20

【符号の説明】

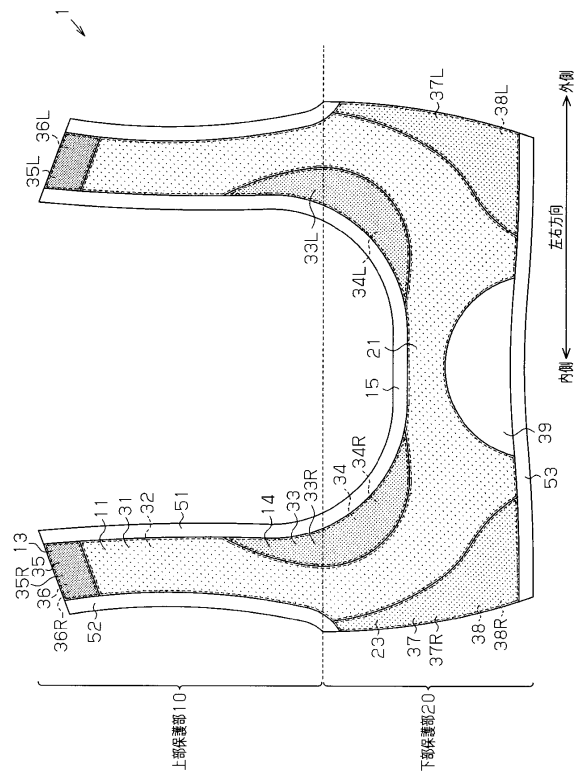
【0092】

1…インナーウェア、10…上部保護部、11…前面上部保護部（肩下部）、12…前面上部保護部、13…肩保護部（肩上部）、14…バスト矯正部、15…前面開口部、16…背面開口部、20…下部保護部、21…前面下部保護部、22…背面下部保護部、23…側部矯正部、31…前面U字表生地、32…前面U字裏生地、33…バスト矯正表生地、33L…左バスト矯正表生地、33R…右バスト矯正表生地、34…バスト矯正裏生地、34L…左バスト矯正裏生地、34R…右バスト矯正裏生地、35…肩表生地、35L…左肩表生地、35R…右肩表生地、36…肩裏生地、36L…左肩裏生地、36R…右肩裏生地、37…側部矯正表生地、37L…左側部矯正表生地、37R…右側部矯正表生地、38…側部矯正裏生地、38L…左側部矯正裏生地、38R…右側部矯正裏生地、39…中下生地、41…背面生地、51…内側縫合部、52…横側縫合部、53…下側縫合部、100…肩、200…胸部、201…胸部上部、202…胸部中部、203…胸部下部、210…バスト、220…アンダーバストライン、230…腋下、300…腹部、400…背中、401…背中上部、402…背中中部、403…背中下部、500…腰部、600…ブラジャー、610…ストラップ、611…ストラップ前部、612…ストラップ後部、613…ストラップ肩部、620…パネル、621…パネル前部、622…パネル後部、623…パネル横部、630…カップ、640…ワイヤー、650…フックアイ。

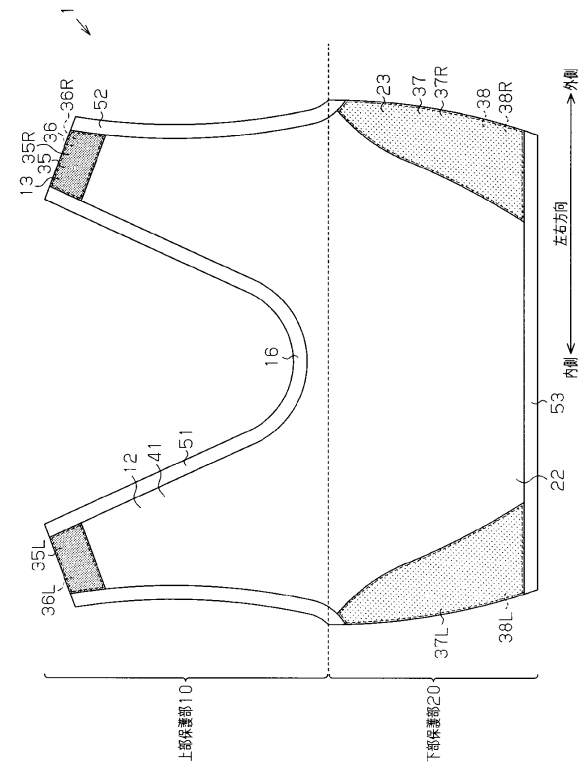
30

40

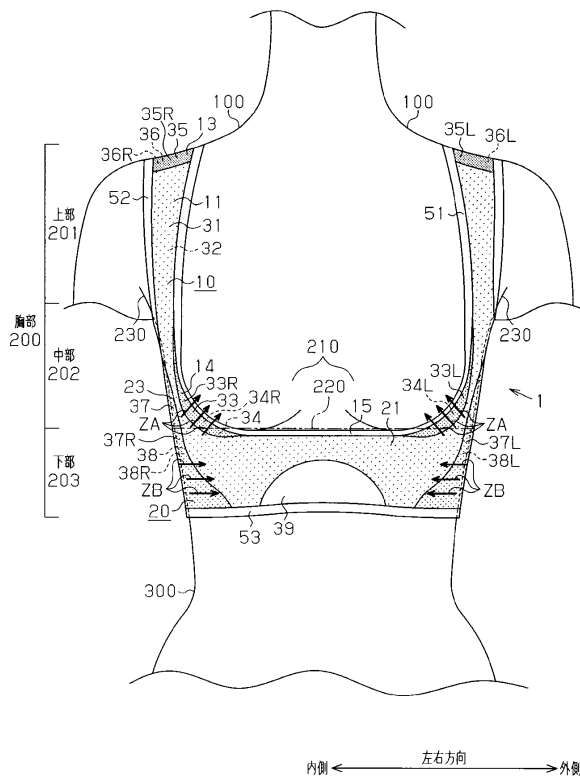
【図 1】



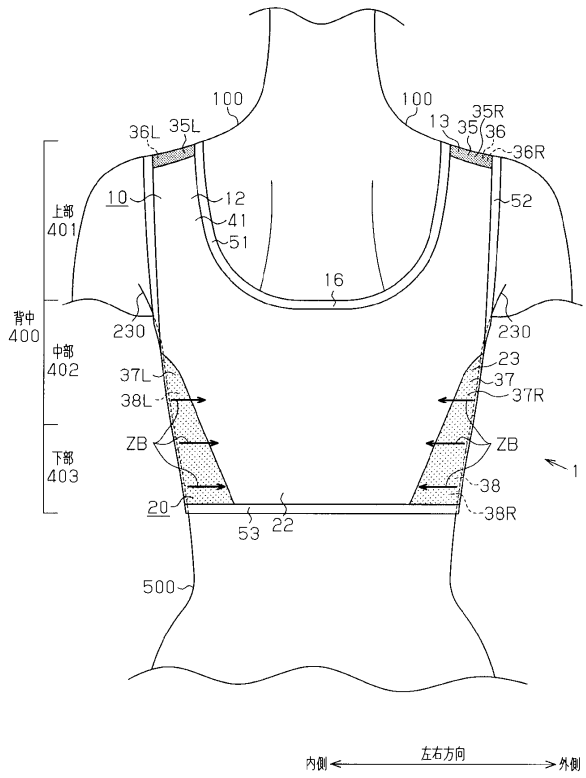
【図 2】



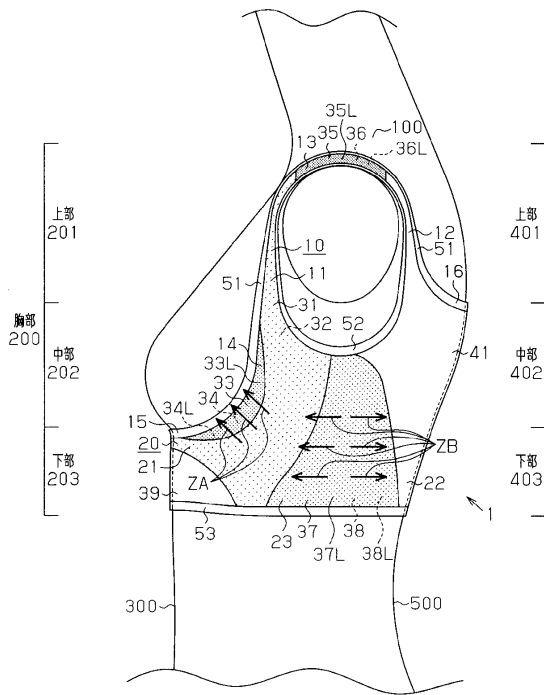
【図 3】



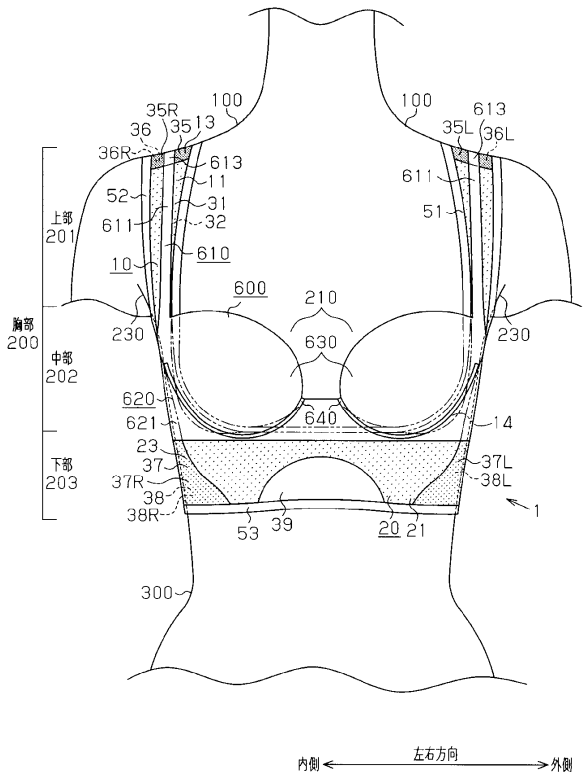
【図 4】



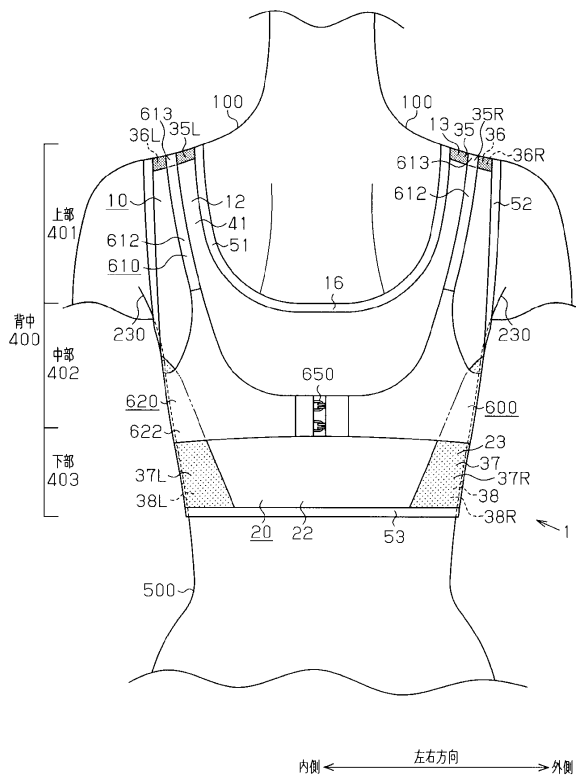
【図 5】



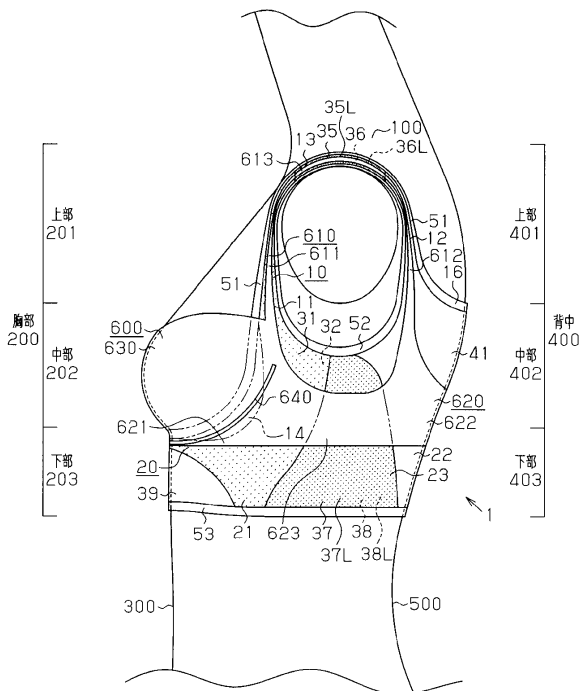
【図 6】



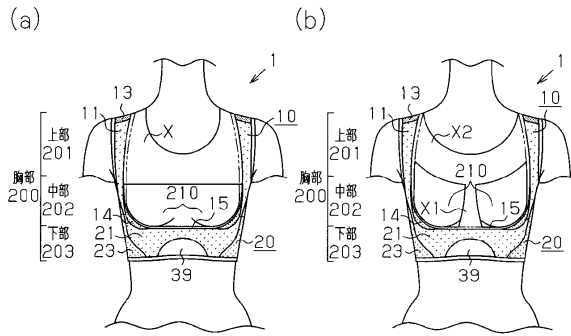
【図 7】



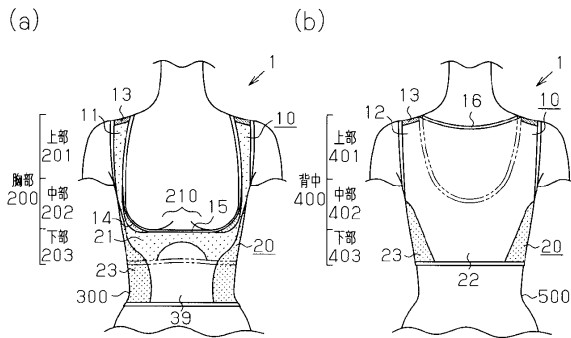
【図 8】



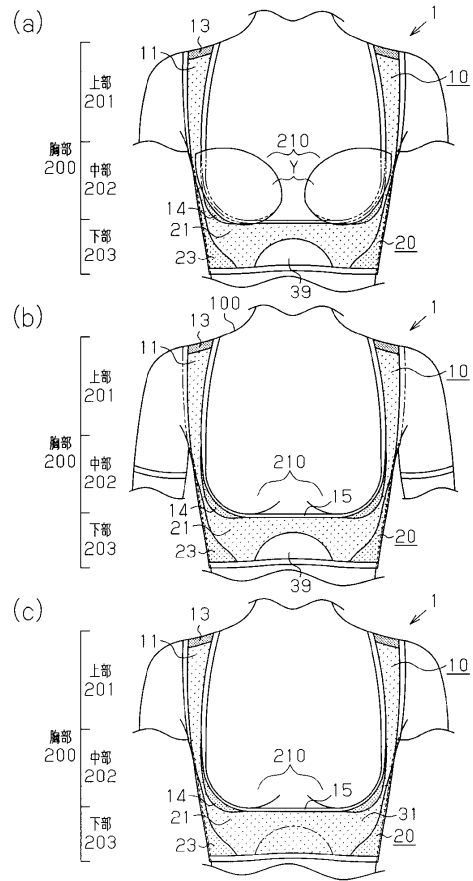
【図 9】



【図 10】



【図 11】



フロントページの続き

(72)発明者 岡野 祐子

兵庫県神戸市須磨区弥栄台3丁目1番2号 株式会社 シャルレ 内

審査官 西藤 直人

(56)参考文献 特開2006-193833 (JP, A)
登録実用新案第3042861 (JP, U)
実開平06-006407 (JP, U)
特開平08-038627 (JP, A)
実開平04-123205 (JP, U)
特開2008-156812 (JP, A)
登録実用新案第3080398 (JP, U)
特開平11-036105 (JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A41B 9/06

A41C 1/00-1/20